



気候変動への対応 (TCFD) | 温室効果ガス削減の取り組み状況 / 排出量

GRI 302-1,3,4/305-1,2,4,5

エネルギー使用量とCO₂排出量

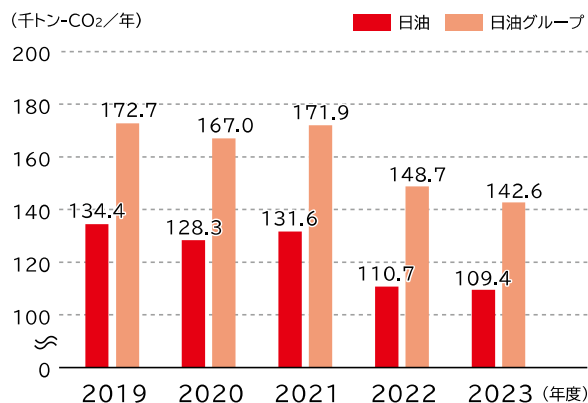
2023年度のエネルギー使用量は、日油グループでは前年度比6.5%減少、日油単独で前年度比4.5%減少しました。エネルギー使用に伴うCO₂排出量は、日油グループでは143千トンと前年に比べて4.1%減少、日油単独では109千トンと1.1%減少となりました。エネルギー原単位は、日油グループは13.9GJ/トンと前年に比べて0.9%増加、日油単独で14.6GJ/トンと0.4%の微増となりました。引き続き、高効率機器への転換など、省エネルギー施策を着実に実施していきます。

エネルギー使用以外のCO₂排出量

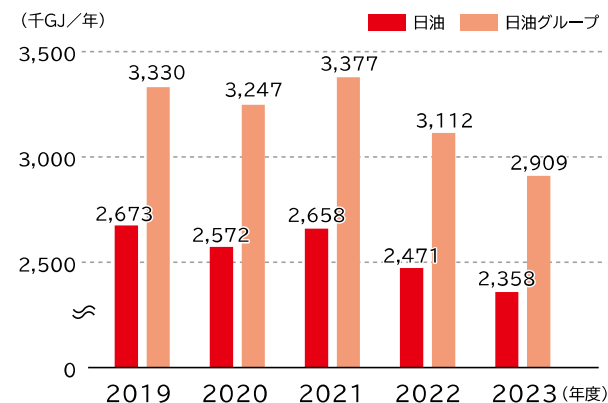
日油の愛知事業所では、温暖化係数の高いPFC（パーフルオロカーボン）を、有機過酸化物の希釈剤として用いて特殊用途製品を製造しています。

2023年度は、設備改善の効果もあり、2022年度比37%程度の減少となりました。今後も、回収設備の安定稼働を継続し、希釈剤変更に向けた取り組みなどによる排出量の削減を目指します。

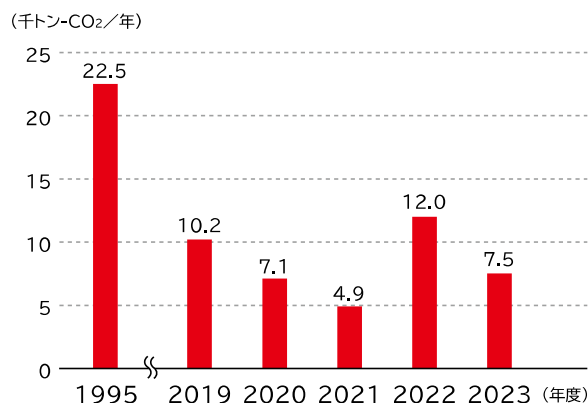
エネルギー起源のCO₂排出量※1の推移



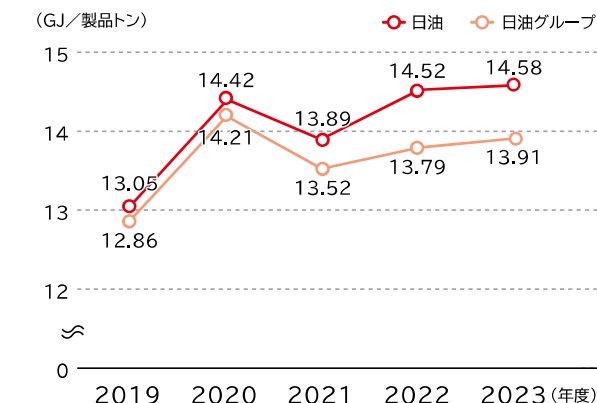
エネルギー投入量※2の推移



PFC排出量の推移 日油



エネルギー原単位の推移



※1 電力使用量をCO₂排出量に換算する場合の係数は、各電力供給会社が公表する各年度の排出係数をそれぞれ用いました。

※2 エネルギー評価で電力使用量を熱量に換算する場合の係数は、9.76MJ/kWhを用いました。